

學會ノ宿題報告

肺結核ノ外科的療法

金澤醫科大學教授 石川 昇博士

ト同一會場ニテ演說セラル豫定ナリ。

此宿題報告以外ノ特別講演及普通演說ハ竹尾結核研究所講堂ニ於テ開カルベシ。

特別講演ハ

光ノ物質ニ對スル作用

京都帝國大學理學部教授 木村 正 路理學博士

ニシテ四月二日午後一時ヨリノ豫定ナリ。

○總會演說申込

二月末日迄ニ

大阪醫科大學肺癆科今村荒男宛ニテ

抄録(邦字一千字以内)ヲ添ヘ申込マレタシ。

數人ノ演題ニシテ其内容相關聯セルモノヲ一代表者ガ演說スル事ヲ希望セラレ時ニハ二月末日迄ニ其旨申込マレタク此際ノ演說時間ハ會長ニ一任セラレタシ。

○カルメット博士演題

日本醫學會演題トシテカルメット博士ハ乳兒ノ結核豫防接種ニ關スル報告ヲ提出セラレンガ此說ハラモン氏が代演セラルル豫定ナリ。

○日本醫學會々員募集

日本結核病學會々員ニシテ第八回日本醫學會々員タラン事ヲ希望セラルル方

ハ會費金參圓ヲ添ヘ大阪市北區堂島竹尾結核研究所日本醫學會事務所へ申込マレタシ同會員ハ日本醫學會ニ關シ種々ナル便宜ヲ得ラルベシ。

○日本醫學會會員ニ對スル

汽車及汽船割引

鐵道省ハ今回日本醫學會々員ニ對シテ官線全部ニ互リテ二、三等往復二割引ヲナス事ヲ承認セリ、尙大阪商船株式會社、日本郵船株式會社及近海郵船株式會社ニ於テモ往復共内海航路ハ一、二等二割引、近海航路ハ同一割引五分ヲナシ、又歐米諸邦ヨリ參會ノ會員及同伴者ニ向ツテハ一、二等共一割五分引ヲナス事ヲ承諾セリ。

○評議員酒井繁博士逝去

昭和四年十二月十七日愛知醫科大學教授酒井博士長逝セラレ告別式ニハ本會ハ吊詞ヲ呈シ哀悼ノ意ヲ表セリ。

第七卷第十一號後藤爲次論文正誤

頁	行	誤	正
九二五	一一	Chelmonski Robin, Hayem (1905) Ehrenreich (1912),	Chelmonski, Robin, Hayem (1905), Ehrenreich (1912),
九二六	一九	早期空腹時	早期空腹時
九二八	四	分割的胃液定量法	分割的胃液検査法
九二九	一	Rusznayák, Korani 氏法	Rusznayák 氏ノ Korani 氏法ノ變法
九二九	九	遲延スルノミナラズ。	遲延スルノミナラズ、
九三四	六	P. 「メ」 「ベ」 「ク」 時、 幅 時	P. 「メ」 「ベ」 「ク」 時、 幅 時
九三七	備考		

九三四	五	鹽素量・鹽素量	鹽素量・鹽素量
九五二	一六	即ホホ	即チ略
九五三	八	非結核慢性腸疾患患者	非結核慢性腸疾患患者
九五三	一	Dehlongue, Grund,	Dehlongue, Grund,
九五三	七	Holler, 氏等	Holler 氏等
九五三	二〇	腸結核性變化	腸ノ結核性變化
九五四	一八	Handak 氏等	Handak 氏等
九五四	第十九表中	六〇	八〇并
九五八	二	二五三分ニシテ、	二一〇分ニシテ、
九五八	二	平均一三五分、	平均一二六分、
九五八	二	非結核慢性腸疾患患者	非結核慢性腸疾患患者
九五八	二	ノソレハ一〇一分ニシテ	十二例ノソレハ九三分ニシテ
九五八	第二十五表中	5.6 0.2	1.6 4.6
九五九	一三	此ニ依ツテ	之ニ依ツテ

會員名簿訂正

「イ」「キ」ノ部

伊藤 醇造 愛媛縣吉田町

伊藤 幸憲 大阪市港區四條通三丁目。築港病院

糸川 欽也 東京市赤坂區青山南町四ノ三。松浦病院

「ハ」ノ部

芳賀 竹四郎 佐世保市高砂町八九

原 克巳 岡山醫科大學、稻田内科

「ホ」ノ部

本間 英史 東京市麴町區富士見町一ノ三

「ト」ノ部

會報並雜報

外山 重高 東京市本郷區本郷四ノ一七。朝明館内

「オ」「ヲ」ノ部

大塚 虎吉 名古屋市東區千種町字野輪一五

岡崎 祇容 横濱市磯子區磯子町

奥田 喜久三 東京市牛込區市ヶ谷砂土原町二ノ四

「ツ」ノ部

東田 一夫 滋賀縣近江療養所内

角 尾 晋 長崎市濱口町一二七

「ナ」ノ部

中塚 光重 高知市南奉公人町二丁目

「ウ」ノ部

氏家 孝次郎 吳市、海軍病院内

「ク」ノ部

吳 建 東京帝國大學醫學部、吳内科

「ヤ」ノ部

山北 又十郎 三重縣、富田濱病院内

「マ」ノ部

松島 孫四郎 大阪市住吉區王子町三ノ一九

「フ」ノ部

福岡 賡吉 松江市、津田街道

「コ」ノ部

小出 義彦 岡山縣上房郡有漢村

「シ」ノ部